

『住み続け再生』連続講座 本講座ご案内（2014年10月～11月）

第7回 10月25日(土)午後1時30分～4時30分

場所:千里文化センター「コラボ」

住民の立場から見た千里ニュータウンの建替え事業 ——新千里西町A団地の建替え事例

お話:山口岩次郎さん(元新千里西町A団地建替対策委員会委員長)

大阪府住宅供給公社は、それまで建設年度の古い団地から建替えてきたが、平成14年度に突如、建設年度の新しい部類に入る千里ニュータウンの11団地の建替える方針を発表。住み続けを願う住民との間で、公社は話し合いを求める住民を提訴。その後後の戻り入居率は19%、敷地の70%は民間に売却され、高層の民間分譲マンションが建設された。当時の住民アンケートなどをもとに住み続けの課題は何かを探る。

第8回 11月15日(土)午後1時30分～4時30分

関西における戦後のニュータウン開発と現状

場所:大阪産業創造会館会議室

お話:瀬渡比呂志さん(関西文化学術研究都市推進機構常務理事)

「住宅の不足の著しい地域において・・・、宅地の大規模な供給をおこなうとともに、健全な新市街地を造成するための土地区画整理事業を施行する・・・」(昭和30年、日本住宅公団法第1条「目的」)により始まった日本住宅公団等による戦後のニュータウン開発。社会状況の変化とともに計画変更を繰り返しながら進めてきた事業を振り返るとともに近隣住区論と歩車分離論に基づき造られ、入居開始から40年以上経過した平城ニュータウンの現状を見る。

*これ以後も毎月講座を開きますので、どうぞご参加ください。

*詳しくは、ホームページをご覧ください。

「住み続け再生」講座ホームページ

<http://sumitsuduke-saisei.jp/>